

リリース・ノート Open Server™ 15.5 Linux 版

ドキュメント ID : DC00556-01-1550-01

改訂 : 2009 年 11 月 12 日

トピック	ページ
1. 最新のリリース・ノート情報へのアクセス	2
2. 製品の概要	2
2.1 製品のコンポーネント	3
2.2 パッチ	3
2.3 POSIX スレッドと pthreads ライブラリ	3
2.4 IPv6 のサポート	4
2.5 サンプル・ファイル	4
3. 特別なインストールと設定の指示	4
3.1 EBF のインストール	5
3.2 必要なアプリケーション	5
3.3 Open Server 15.0 の上に Open Server 15.5 をインストールする	5
3.4 InstallAnywhere インストーラと InstallShield Multiplatform インストーラの実行	6
3.5 Linux POWER 32 ビット版および 64 ビット版のインストール前の作業手順	6
3.6 dscp または dsedit による interfaces ファイル・エントリの修正	6
4. このバージョンで変更された機能	7
5. 既知の問題	7
5.1 インストーラの問題	7
5.2 64 ビット・ライブラリの使用	8
6. プログラミングの問題	8
6.1 新しいバージョンへのアップグレード	8
6.2 タイム・スライス・プロパティとマルチスレッド・ライブラリ・バージョン	8
7. 製品の互換性と相互運用性	9
7.1 互換性と相互運用性の一覧	9
7.2 Open Server を他の Sybase 製品と一緒にインストールするためのガイドライン	10
8. テクニカル・サポート	11

トピック	ページ
9. その他の情報	11
9.1 Web 上の Sybase 製品の動作確認情報	12
9.2 Sybase EBF とソフトウェア・メンテナンス	12
10. アクセシビリティ機能	13

1. 最新のリリース・ノート情報へのアクセス

このリリース・ノートの最新バージョン (英語版) にはインターネットからアクセスできます。製品のリリース後に追加された製品およびマニュアルに関する重要な情報は、Sybase® Product Manuals Web サイトで確認してください。

❖ Sybase Product Manuals Web サイトのリリース・ノートにアクセスする

- 1 Product Manuals (<http://www.sybase.com/support/manuals/>) を開きます。
- 2 製品と言語を選択し、[Go] をクリックします。
- 3 [Document Set] リストから、製品のバージョンを選択します。
- 4 [Release Bulletins] リンクを選択します。
- 5 マニュアルのリストから、使用しているプラットフォームのリリース・ノートへのリンクを選択します。PDF バージョンをダウンロードするか、オンライン・マニュアルを参照することができます。

2. 製品の概要

この製品に含まれているのは Sybase Open Server™ バージョン 15.5 であり、以下で動作します。

- Linux x86 32 ビット版
- Linux x86-64 64 ビット版
- Linux POWER 32 ビット版および 64 ビット版

サポートされるオペレーティング・システムの最新のリストについては、Sybase platform certifications ページ (<http://certification.sybase.com/ucr/search.do>) を参照してください。Open Server が構築およびテストされたプラットフォーム、コンパイラ、およびサードパーティ製品のリストについては、『新機能 Open Server 15.5 および SDK 15.5 Windows、Linux、UNIX、Mac OS X 版』を参照してください。

2.1 製品のコンポーネント

Open Server のコンポーネントとこれらのコンポーネントがサポートされているプラットフォームのリストについては、『新機能 Open Server および SDK Microsoft Windows、Linux、UNIX、Mac OS X 版』を参照してください。

2.2 パッチ

Red Hat Enterprise Linux 4.5 x86 32 ビット版と x86-64 64 ビット版に必要なリリース・レベルは次のとおりです。

- kernel-2.6.9-55.ELsmp
- glibc-2.3.4-2.36
- gcc-3.4.6-8

Red Hat Enterprise Linux 4.5 POWER 32 ビット版と 64 ビット版に必要なリリース・レベルは次のとおりです。

- kernel-2.6.9-55.ELsmp
- glibc-2.3.4-2.36
- IBM XLC 8.0

2.3 POSIX スレッドと pthreads ライブラリ

Open Server では、POSIX スレッドが使用されます。スレッド・ライブラリ (*_r) を使用する場合は、pthreads ライブラリを使用してリンクしてください。

Open Client™ のライブラリについては、『Open Client/Server プログラマーズ・ガイド補足 UNIX 版』を参照してください。

注意 DB-Library™ は、スレッド・インタフェースをサポートしません。

2.4 IPv6 のサポート

このリリースの時点では、Open Server を Linux プラットフォーム上で使用する場合に IPv6 がサポートされます。

以下に示す *interfaces* ファイルのエントリでは、最後の 2 つのサーバ・アドレスが IPv6 フォーマットになっています。

```
BARNARD_OS
master tcp ether barnards.sybase.com 18200
query tcp ether barnards.sybase.com 18200
master tcp ether barnards.v6.sybase.com 18200
query tcp ether barnards.v6.sybase.com 18200
master tcp ether
      fd77:55d:59d9:165:203:baff:fe68:aa12 18200
query tcp ether
      fd77:55d:59d9:165:203:baff:fe68:aa12 18200
```

注意 *interfaces* ファイル内の master 行と query 行はすべてタブ文字で開始する必要があります。

2.5 サンプル・ファイル

サンプル・ファイルは、Open Server のインストール・ディレクトリ `$$SYBASE/$$SYBASE_OCS/sample` にあります。

3. 特別なインストールと設定の指示

Open Server をインストールする手順については、使用しているプラットフォームの『Software Developer's Kit/Open Server インストール・ガイド』を参照してください。該当する場合は、このリリース・ノートの「[Open Server を他の Sybase 製品と一緒にインストールするためのガイドライン](#)」(10 ページ)を参照してください。

警告! Open Server と SDK の両方を同じディレクトリにインストールする場合は、同じバージョン、同じ ESD レベルのものを使用することをおすすめします。Open Server と SDK はファイルを共有するため、バージョンや ESD レベルが異なると製品が動作しないことがあります。

環境の設定方法については、使用しているプラットフォームの『Open Client/Server 設定ガイド』を参照してください。

Open Client/Open Server アプリケーションおよびサンプル・プログラムのコンパイルと実行については、使用しているプラットフォームの『Open Client/Server プログラマーズ・ガイド補足』を参照してください。

3.1 EBF のインストール

インストール環境を最新の状態に保つために、Open Server をインストールした後で、対応する EBF の最新版をダウンロードしてインストールすることを強くおすすめします。製品更新版は、**Sybase Downloads** からダウンロードできます。(<http://downloads.sybase.com>)

Open Server の各リリースには、SDK のサブセットが含まれます。このため、Open Server の EBF には 2 つのバージョン文字列が含まれます。1 つは Open Server EBF に対応し、もう 1 つは SDK のファイル、たとえば Client-Library、*isql*、*bcp* などに対応します。

たとえば、ある Open Server 製品では、Server-Library のバージョン文字列が *Server-Library/15.5/P-EBF17391-17390* で、Client-Library のバージョン文字列が *Client-Library/15.5/P-EBF17930* などとなります。これらのバージョン文字列の 17931 は Open Server EBF を示し、17930 は Client-Library ファイル (およびその他の SDK ファイル) を示します。

適切なバージョンの Open Server を使用しているかどうかを確認するには、Open Server ライブラリのバージョン文字列を調べます。

```
strings libsybsrv.a | grep Sybase
```

3.2 必要なアプリケーション

Open Server インストーラには、*gzip* が必要です。\$PATH 環境変数に *gzip* へのパスが設定されていることを確認してください。

3.3 Open Server 15.0 の上に Open Server 15.5 をインストールする

Open Server バージョン 15.5 は、バージョン 15.0 の置き換え用バージョンです。既存の Open Server 15.0 ディレクトリに Open Server 15.5 をインストールすると、バージョン 15.5 のファイルによって 15.0 のファイルが上書きされます。Sybase では、Open Server 15.5 をインストールする前に、Open Server 15.0 ディレクトリをバックアップすることをおすすめします。

3.4 InstallAnywhere インストーラと InstallShield Multiplatform インストーラの実行

InstallAnywhere および InstallShield Multiplatform によって生成された一部のファイルは、同じファイル名を共有します。このことは、InstallAnywhere と InstallShield の両方のテクノロジーを使用して、製品を同じインストール・ディレクトリにインストールする場合、またはそこからアンインストールする場合に問題になります。これは、両方のインストーラによって使用されるファイルが警告なしで上書きまたは削除されるためです。Sybase では、InstallShield および InstallAnywhere を使用して、同じインストール・ディレクトリにインストールしたり、またはそこからアンインストールしたりしないことをおすすめします。

3.5 Linux POWER 32 ビット版および 64 ビット版のインストール前の作業手順

Open Server は、Visual Age コンパイラ XLC バージョン 8.0 を使用してコンパイルされ、リンクされています。Visual Age コンパイラのランタイム・ライブラリをインストールしてから、Open Server をインストールしてください。Visual Age コンパイラのランタイム・ライブラリをインストールしないと、インストール・エラーになります。

このランタイム・ライブラリをインストールする前に、次のコマンドを発行して、Visual Age ランタイム・パッケージが既にインストールされているかどうかを確認してください。

```
rpm -q vacpp.rte-8.0.0-0
```

このコマンドによって“vacpp.rte-8.0.0-0”が返された場合は、Visual Age ランタイム・パッケージが既にインストールされていることを示しているので、Open Server のインストール作業に進むことができます。

“package vacpp.rte-8.0.0-0 is not installed”というメッセージが表示された場合は、IBM Web site から XLC v8.0 ランタイム実行プログラムをダウンロードしてください。(http://www-01.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg24011028)

パッケージをダウンロードしてインストールする手順については、Web ページの指示に従ってください。ダウンロード用の表の中から Red Hat 4.5 オペレーティング・システム用のインストール・パッケージを必ず選択します。XLC バージョン 8.0 ランタイム・ライブラリのインストールが完了してから、Open Server のインストール作業に進んでください。

3.6 dscp または dsedit による interfaces ファイル・エントリの修正

ディレクトリ・サービス・エントリを修正するには、dscp または dsedit を使います。これらのユーティリティの詳細については、『Open Client/Server 設定ガイド UNIX 版』を参照してください。

4. このバージョンで変更された機能

Open Server の機能の変更点は、『新機能 Open Server 15.5 および SDK 15.5 Windows, Linux, UNIX, Mac OS X 版』に記載されています。

5. 既知の問題

この項では、このバージョンで既にわかっている問題をすべて説明します。

5.1 インストーラの問題

この項では、Open Server のインストール時に発生する可能性のある既知の問題について説明します。

5.1.1 *setup.bin* へのパスに“..”が含まれていると、インストーラが起動しない

[CR #595582] 指定した *setup.bin* へのパスに“..”が含まれていると、インストーラが起動しません。

対処方法： *setup.bin* へのパスに“..”が含まれていないことを確認します。

5.1.2 アンインストール・プロセスが応答しない

[CR #595573] [ユーザ・ファイルの削除] 画面で [削除] を選択してから、[アンインストール完了] 画面で [戻る] をクリックすると、アンインストール・プログラムが応答しなくなります。[ユーザ・ファイルの削除] と [アンインストール完了] は、アンインストール・プログラムで表示される最後の2つの画面です。

対処方法： [削除] を選択した後に、[ユーザ・ファイルの削除] 画面に戻らないでください。

5.1.3 [プリインストールの要約] 画面でインストーラが応答しなくなる

[CR #589483] `df` コマンドが応答なくなると、インストーラも [プリインストールの要約] 画面で応答しなくなります。

対処方法： ネットワーク・ファイル・システム (NFS: Network File System) マウントを修正し、インストーラを再実行します。

5.1.4 サイレント・モードでインストールするときに機能名が検証されない

[CR #583979] サイレント・モードでインストールするときに、インストーラが、応答ファイルで指定されている機能名を検証しません。

対処方法： 指定されている機能名が正しいことを確認します。

5.2 64 ビット・ライブラリの使用

Open Server は、64 ビット・バージョンで使用できます。-DSYB_LP64 フラグを使用して、64 ビット・ライブラリを使用するアプリケーションをコンパイルします。

6. プログラミングの問題

この項では、Open Server に関連するプログラミングの問題について説明します。

6.1 新しいバージョンへのアップグレード

次のような作業を実行することをおすすめします。

- 静的にリンクしているすべてのアプリケーション (srvlib) を、新しいバージョンのソフトウェアを使用して再構築します。新しいヘッダ・ファイルとライブラリを使用して、アプリケーションの再コンパイルと再リンクを実行します。
- 動的にリンクしているアプリケーションは、ライブラリ名に“syb”が含まれる SDK ライブラリを使用して再コンパイルおよび再リンクします。

注意 アプリケーション・ファイルを変更した場合は、再コンパイルする必要があります。

アプリケーションの構築に使用するバージョンと同じメジャー・リリースのランタイム・ライブラリを使用してください。

6.2 タイム・スライス・プロパティとマルチスレッド・ライブラリ・バージョン

Sybase のライブラリのマルチスレッド・バージョンを使用している場合、SRV_S_TIMESLICE Open Server プロパティはサポートされません。アプリケーションによってこのプロパティを設定できますが、効果はありません。このため、タイム・スライス・イベントに依存する既存のアプリケーション・コードを変更してから、マルチスレッド・ライブラリと再リンクする必要があります。

アプリケーションで `srv_capability` を呼び出すと、タイム・スライス機能がサポートされているかどうかを確認できます。

7. 製品の互換性と相互運用性

ここでは、Open Server 15.5 と互換性のある製品について説明します。Open Server が構築およびテストされたプラットフォーム、コンパイラ、およびサードパーティ製品のリストについては、『新機能 Open Server 15.5 および SDK 15.5 Windows, Linux、UNIX、Mac OS X 版』を参照してください。

7.1 互換性と相互運用性の一覧

表 1 に、Open Server、SDK、Adaptive Server® Enterprise、および Replication Server® の各バージョンの互換性と相互運用性の一覧を示します。特定のプラットフォームの情報については、各製品の Certification Report を参照してください。

複数の製品が相互運用可能であっても、ある製品の新しいバージョンで導入された新機能が、同じ製品や他の製品の古いバージョンではサポートされないことがあります。

表 1: 互換性と相互運用性の一覧

Open Server 15.5	SDK			Adaptive Server			Replication Server				
	15.5	15.0	12.5.1	15.5	15.0.x	12.5.x	15.5	15.2	15.1	15.0.1	12.6
HP HP-UX PA-RISC 32 ビット版	x	x	x	該当 なし	該当 なし	x	該当 なし	該当 なし	x	x	x
HP HP-UX PA-RISC 64 ビット版	x	x	x	x	x	x	該当 なし	該当 なし	該当 なし	該当 なし	該当 なし
HP HP-UX Itanium 32 ビット版	x	x	x	該当 なし	該当 なし	該当 なし	該当 なし	該当 なし	該当 なし	x	x
HP HP-UX Itanium 64 ビット版	x	x	x	x	x	x	x	x	x	該当 なし	該当 なし
IBM AIX POWER 32 ビット版	x	x	x	該当 なし	該当 なし	x	該当 なし	x	x	x	x
IBM AIX POWER 64 ビット版	x	x	x	x	x	x	x	該当 なし	該当 なし	該当 なし	該当 なし
Linux x86 32 ビット版	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
Linux x86-64 64 ビット版	x	x	x	x	x	x	x	該当 なし	該当 なし	該当 なし	該当 なし
Linux POWER 32 ビット版	x	x	x	該当 なし	該当 なし	該当 なし	該当 なし	該当 なし	該当 なし	該当 なし	該当 なし
Linux POWER 64 ビット版	x	x	x	x	x	x	x	x	x	該当 なし	該当 なし
Sun Solaris SPARC 32 ビット版	x	x	x	x	x	x	該当 なし	x	x	x	x
Sun Solaris SPARC 64 ビット版	x	x	x	x	x	x	x	該当 なし	該当 なし	該当 なし	該当 なし
Sun Solaris x86-64 32 ビット版	x	x	x	該当 なし	該当 なし	x	該当 なし	x	x	該当 なし	x

Open Server 15.5	SDK			Adaptive Server			Replication Server				
	15.5	15.0	12.5.1	15.5	15.0.x	12.5.x	15.5	15.2	15.1	15.0.1	12.6
Sun Solaris x86-64 64 ビット版	x	x	x	x	x	x	x	該当 なし	該当 なし	該当 なし	該当 なし
Microsoft Windows x86 32 ビット版	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
Microsoft Windows x86-64 64 ビット版	x	x	x	x	x	該当 なし	x	該当 なし	該当 なし	該当 なし	該当 なし

記号の説明 : x = 互換性あり、該当なし = そのプラットフォーム版で製品が使用できない、または Open Server と連動しない。

注意 表 1 に示した SDK および Open Server の互換性情報は、互換性のある製品をそれぞれ別の \$SYBASE ディレクトリにインストールすることを前提とします。

その他の注意事項

- Open Server と SDK の互換性を確保するには、アプリケーションにインクルードされるヘッダ・ファイルのバージョン・レベルと、アプリケーションがリンクしているライブラリのバージョン・レベルが同じである必要がある。
- Open Server を呼び出すアプリケーションで Bulk-Library のルーチンを使用できない。
- DB-Library ベースの Open Server アプリケーションは、バージョン 11.x 以降ではサポートされない。

7.2 Open Server を他の Sybase 製品と一緒にインストールするためのガイドライン

Open Server を他の Sybase 製品と同じサーバにインストールするためのガイドラインを次に示します。

- 一般に、Open Server を新しくインストールする場合は、他の Sybase 製品 (Replication Server, OpenSwitch™, Enterprise Connect™ Data Access, Sybase IQ など) とは別のディレクトリに配置することをおすすめします。ただし、何らかの問題に対処するために、Sybase 製品の保守契約を結んでいるサポート・センタから Sybase 製品を同じディレクトリにインストールするように明示的に指示された場合を除きます。
- 異なるバージョンの SDK と Open Server を同じディレクトリに混在させないことをおすすめします。たとえば、Open Server 12.5.1 が存在するディレクトリに SDK 15.5 をインストールすることは避けてください。この場合は、SDK と Open Server の両方を 15.5 にアップグレードしてください。

8. テクニカル・サポート

Sybase ソフトウェアがインストールされているサイトには、Sybase 製品の保守契約を結んでいるサポート・センタとの連絡担当の方(コンタクト・パーソン)を決めています。マニュアルだけでは解決できない問題があった場合には、担当の方を通して Sybase 製品のサポート・センタまでご連絡ください。

9. その他の情報

Sybase Getting Started CD、SyBooks™ CD、Sybase Product Manuals Web サイトを利用すると、製品について詳しく知ることができます。

- Getting Started CD には、PDF 形式のリリース・ノートとインストール・ガイド、SyBooks CD に含まれていないその他のマニュアルや更新情報が収録されています。この CD は製品のソフトウェアに同梱されています。Getting Started CD に収録されているマニュアルを参照または印刷するには、Adobe Acrobat Reader が必要です (CD 内のリンクを使用して Adobe の Web サイトから無料でダウンロードできます)。
- SyBooks CD には製品マニュアルが収録されています。この CD は製品のソフトウェアに同梱されています。Eclipse ベースの SyBooks ブラウザを使用すれば、使いやすい HTML 形式のマニュアルにアクセスできます。

一部のマニュアルは PDF 形式で提供されています。これらのマニュアルは SyBooks CD の PDF ディレクトリに収録されています。PDF ファイルを開いたり印刷したりするには、Adobe Acrobat Reader が必要です。

SyBooks をインストールして起動するまでの手順については、Getting Started CD の『SyBooks インストール・ガイド』、または SyBooks CD の *README.txt* ファイルを参照してください。

- Sybase Product Manuals Web サイトは、SyBooks CD のオンライン版であり、標準の Web ブラウザを使ってアクセスできます。また、製品マニュアルのほか、EBFs/Maintenance、Technical Documents、Case Management、Solved Cases、ニュース・グループ、Sybase Developer Network へのリンクもあります。

Sybase Product Manuals Web サイトは、Product Manuals にあります。
(<http://www.sybase.com/support/manuals/>)

9.1 Web 上の Sybase 製品の動作確認情報

Sybase Web サイトの技術的な資料は頻繁に更新されます。

❖ 製品認定の最新情報にアクセスする

- 1 Web ブラウザで **Technical Documents** を指定します。
(<http://www.sybase.com/support/techdocs/>)
- 2 [Partner Certification Report] をクリックします。
- 3 [Partner Certification Report] フィルタで製品、プラットフォーム、時間枠を指定して [Go] をクリックします。
- 4 [Partner Certification Report] のタイトルをクリックして、レポートを表示します。

❖ コンポーネント認定の最新情報にアクセスする

- 1 Web ブラウザで **Availability and Certification Reports** を指定します。
(<http://certification.sybase.com/>)
- 2 [Search By Base Product] で製品ファミリーとベース製品を選択するか、[Search by Platform] でプラットフォームとベース製品を選択します。
- 3 [Search] をクリックして、入手状況と認定レポートを表示します。

❖ Sybase Web サイト (サポート・ページを含む) の自分専用のビューを作成する

MySybase プロファイルを設定します。MySybase は無料サービスです。このサービスを使用すると、Sybase Web ページの表示方法を自分専用カスタマイズできます。

- 1 Web ブラウザで **Technical Documents** を指定します。
(<http://www.sybase.com/support/techdocs/>)
- 2 [MySybase] をクリックし、MySybase プロファイルを作成します。

9.2 Sybase EBF とソフトウェア・メンテナンス

❖ EBF とソフトウェア・メンテナンスの最新情報にアクセスする

- 1 Web ブラウザで **Sybase Support** ページを指定します。
(<http://www.sybase.com/support>)
- 2 [EBFs/Maintenance] を選択します。MySybase のユーザ名とパスワードを入力します。
- 3 製品を選択します。

- 4 時間枠を指定して [Go] をクリックします。EBF/Maintenance リリースの一覧が表示されます。
鍵のアイコンは、「Technical Support Contact」として登録されていないため、一部の EBF/Maintenance リリースをダウンロードする権限がないことを示しています。未登録でも、Sybase 担当者またはサポート・コンタクトから有効な情報を得ている場合は、[Edit Roles] をクリックして、「Technical Support Contact」の役割を MySybase プロファイルに追加します。
- 5 EBF/Maintenance レポートを表示するには [Info] アイコンをクリックします。ソフトウェアをダウンロードするには製品の説明をクリックします。

10. アクセシビリティ機能

このマニュアルには、アクセシビリティを重視した HTML 版もあります。この HTML 版マニュアルは、スクリーン・リーダーで読み上げる、または画面を拡大表示するなどの方法により、その内容を理解できるよう配慮されています。

Open Client および Open Server のマニュアルは、連邦リハビリテーション法第 508 条のアクセシビリティ規定に準拠していることがテストにより確認されています。第 508 条に準拠しているマニュアルは通常、World Wide Web Consortium (W3C) の Web サイト用ガイドラインなど、米国以外のアクセシビリティ・ガイドラインにも準拠しています。

注意 アクセシビリティ・ツールを効率的に使用するには、設定が必要な場合もあります。一部のスクリーン・リーダーは、テキストの大文字と小文字を区別して発音します。たとえば、すべて大文字のテキスト (ALL UPPERCASE TEXT など) はイニシャルで発音し、大文字と小文字の混在したテキスト (Mixed Case Text など) は単語として発音します。構文規則を発音するようにツールを設定すると便利かもしれませんが、詳細については、ツールのマニュアルを参照してください。

Sybase のアクセシビリティに対する取り組みについては、**Sybase Accessibility** (<http://www.sybase.com/accessibility>) を参照してください。Sybase Accessibility サイトには、第 508 条と W3C 標準に関する情報へのリンクもあります。

